東西の表裏一と聖書的思考

目　次

序……5

第１部　東西の思想 ……9

第１章　鈴木大拙におけるキリスト教理解 ……10

第１節　禅における悟り　10

第２節　キリスト信仰の禅との関わり（接触点）　21

第３節　キリスト信仰の禅との関わり（超過的側面）　25

第４節　キリスト教理解における問題点　38

第２章　P. ティリッヒ『組織神学』におけるキリスト教的宗教哲学……54

第１節　キリスト教理解の方法　54

第２節　信仰の対象　71

第３節　神と人との関わり方　90

第３章　エックハルトにおける神秘主義―禅的思想と対比しつつ― ……107

第１節　神と人との接触の前提　107

第２節　神と人との接触の様相　122

第３節　神と人との接触の結果　146

第２部　聖書的思考 ……167

第１章　霊という存在 ……168

第１節　悪霊、聖霊等霊的次元の存在　168

第２節　聖霊の働き　177

第２章　啓示の神への忠誠 ……195
第１節　思想的背景　195
第２節　歴史的状況　203

あとがき ……210